
 学校の働き方改革 
業務改善ワークショップ
投影資料

令和8年3月

本資料はワークショップの投影資料です

業務改善ワークショップ

「全員で最初の一歩を踏み出す！」

実施に向けたポイント

- ワークショップ実施にあたっては別紙の「ワークショップ紹介資料」もご確認ください
- P.2-P.6は司会者の先生向け
P.7以降が投影資料です
- 投影資料の「実施時間部分」は適宜変更の上、ご利用ください

「はじめに」では雰囲気づくり・情報共有をします

はじめに → 個人ワーク → テーマ分け → グループディスカッション → 推しプレゼン

修正
14:00-14:10

はじめに

今日の位置づけ

実施に向けたポイント

『はじめに』で特に伝えていただきたい内容

今日の位置づけ

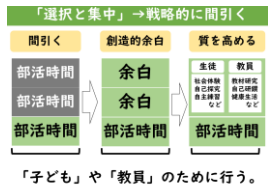
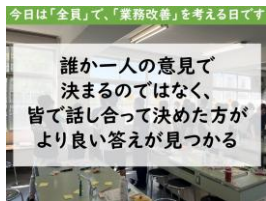
- ✓ 「みんな」で話し合うことで、より良い答えに近づける(p.10)

アイスブレイク

- ✓ アイデアを出しやすい雰囲気づくりが目的。雰囲気づくりが出来ていれば省略可(P.14)

事前説明

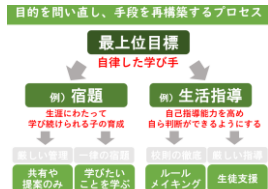
- ✓ 働き方改革の目的は時間削減ではなく、「質向上」(p.17-20)
- ✓ 「こうすべき」を外して考える(P.23)
- ✓ 手段ではなく、目的から問い直す(P.25-28)



バイアス例

バイアス例	見直し案
毎日掃除はするべき!	清掃週1回
PTAがないと協力しない!	PTA廃止⇒ボランティア化
1人の担任が責任をもつべき!	担任制廃止⇒学年担任制
1時期は45分であるべき!	午前5時間制40分授業
研究がないと絶対に学ばない!	校内研究廃止⇒学び合い
宿題3セットを課すべき!	一律の家庭学習の廃止
字どしもの宿題は決めるべき!	教室のフリアードレス
指示説明しないと絶対無理!	学び方を子どもが選ぶ

それって本当なの?
いつからそう思っているの?



個人ワークでは、自由にアイデア出しをします

はじめに → 個人ワーク → テーマ分け → グループディスカッション → 推しプレゼン

修正
14:10-14:20

個人ワーク

働き方改革 - 3つの切り口 -

自助 個人裁量

共助 学校裁量

公助 教育委員会・国裁量

3者それぞれに何ができるのか？
を考えた行動することが大事

実施に向けたポイント

『個人ワーク』で
特に伝えていただきたい内容

- 今日の場は「自助」・「共助」に絞ってアイデア出しをする(p.31)

その他

- 司会者は、参加者の記入状況を見回りつつ模造紙にテーマを記入し
参加者に模造紙に付箋を貼るようにアナウンスしてください
(※詳しくは『ワークショップ紹介資料』をご確認ください)

グループディスカッションは、アイデアを深めます

はじめに → 個人ワーク → テーマ分け → **グループディスカッション** → 推しプレゼン

修正
15:45-16:15

グループ
ディスカッション

実施に向けたポイント

『グループディスカッション』で
特に伝えていただきたい内容

- アイデアが出てこない・詰まった場合は他の資料も参考にしてください
 - ✓ 令和7年度 ワークショップ紹介事例
 - ✓ 取組リスト

押しプレゼン後は、この先の進め方を頭出しします

はじめに → 個人ワーク → テーマ分け → グループディスカッション → 押しプレゼン

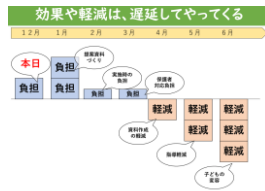
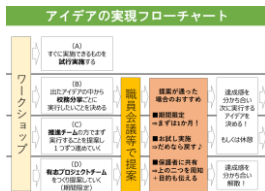
修正
14:55-15:00

押しプレゼン

実施に向けたポイント

『押しプレゼン』実施後 特に伝えていただきたい内容

- 今後は、すぐやれるものはすぐやる。
検討が必要なものは分掌や有志のチームを作り進める (p. 39)
- 効果が出るまで時間がかかる可能性はあるが、将来的な余白創出のため進める (p. 40)





学校の働き方改革



業務改善ワークショップ

はじめに

個人ワーク

テーマ分け

グループ
ディスカッション

押しプレゼン

14:00-14:10

はじめに

今日の位置づけ

今日は「全員」で、「業務改善」を考える日です

誰か一人の意見で
決まるのではなく、
皆で話し合って決めた方が
より良い答えが見つかる

納得を得やすいフロー

通常パターン

各分掌主任、担当が
提案資料を作成

提案のための根回し

各分科会の中で提案

管理職等に提案

提案のための根回し

職員会議で提案

A : 試行実施
B : 再検討

新パターン

ワークショップ

すぐに
試行実施

■ 期間限定で試行実施

⇒ まずやってみる。やってみて考える。

※ 保護者に試行実施の段階で共有

有志PJT
チームで検討

職員会議提案

A : 試行実施

解散

主任、担当が
預かり再検討

B : 再検討

次の
案

5時30分に誰もいない学校があります



全校改革を通じ、5か月で実現

校内研究
改革

総合の
授業改革

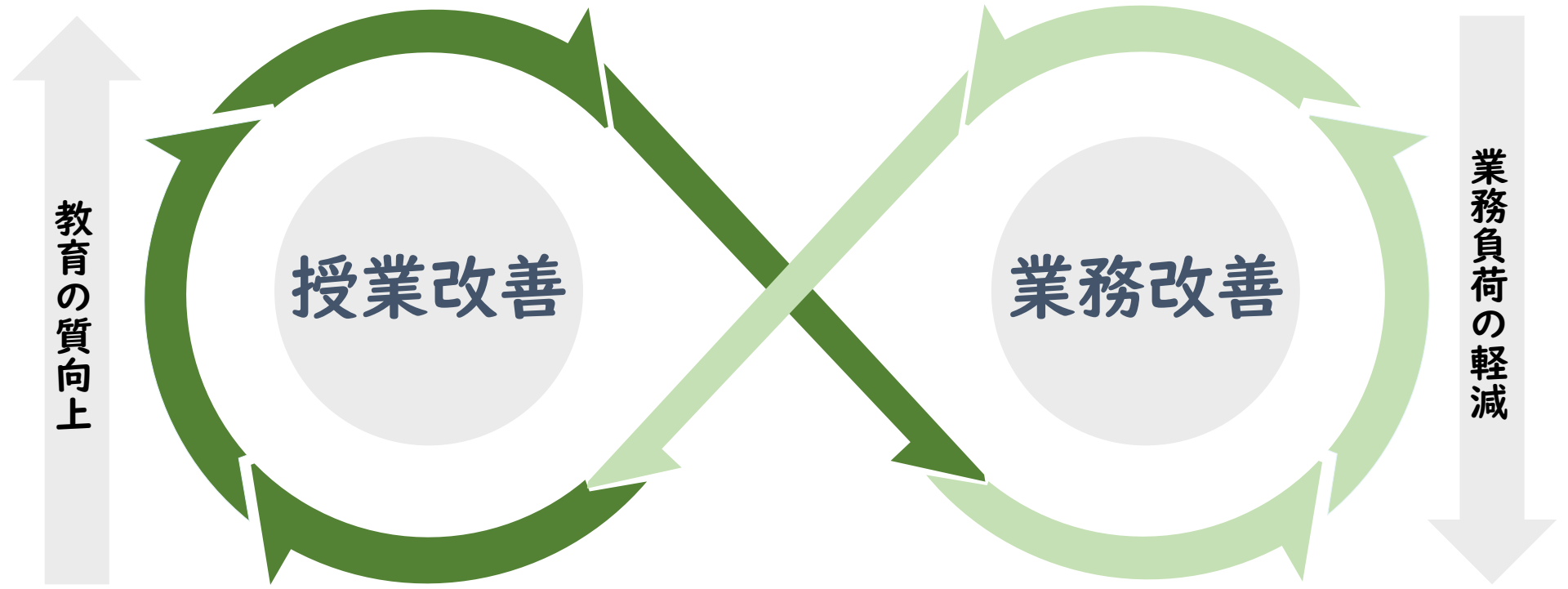
時程の
大幅改革
40分授業

チーム
担任制

業務負荷の軽減と教育の質向上を合わせて、進めましょう

子どもを自立した学び手へ導く授業革新

教職員が自分の力で余白をつくる業務改善



はじめに

個人ワーク

テーマ分け

グループ
ディスカッション

押しプレゼン

14:00-14:10

アイスブレイク

今の働き方は何点？

◆本音で直感で！

真上：10点

真横：5点

真下：0点



はじめに

個人ワーク

テーマ分け

グループ
ディスカッション

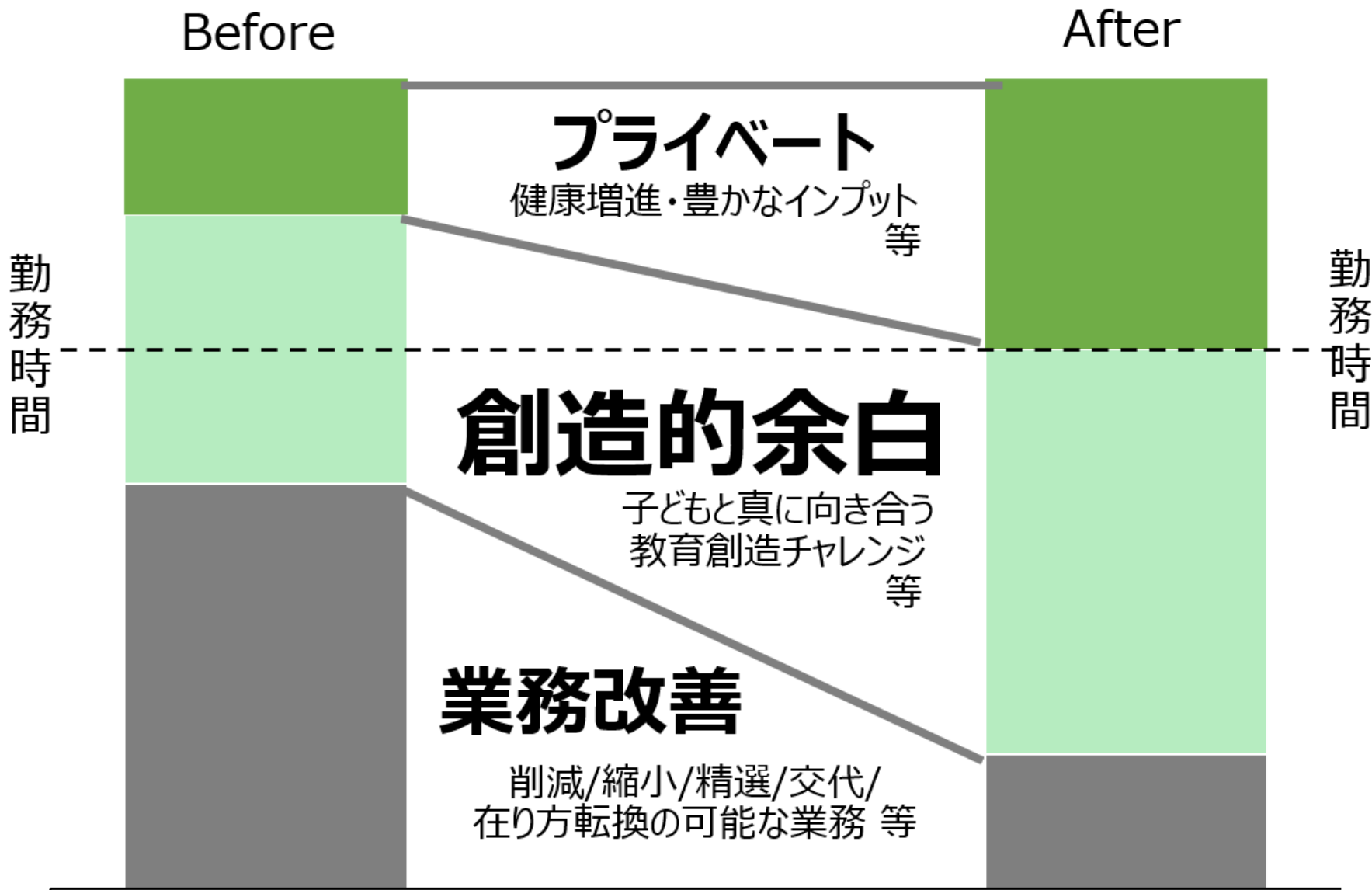
押しプレゼン

事前説明

14:00-14:10

- ①働き方改革の目的
- ②バイアスについて
- ③目的の問い直し

働き方改革の目的は「教育の質の向上」



「選択と集中」 → 戦略的に間引く

間引く

部活時間

部活時間

部活時間

「選択と集中」→戦略的に間引く

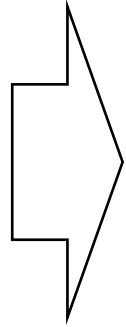
間引く

創造的余白

部活時間

部活時間

部活時間



余白

余白

部活時間

「選択と集中」→戦略的に間引く

間引く

創造的余白

質を高める

部活時間

部活時間

部活時間

余白

余白

部活時間

生徒

社会体験
自己探究
自主練習
など

教員

教材研究
自己研鑽
健康生活
など

部活時間

「子ども」や「教員」のために行う。

はじめに

個人ワーク

テーマ分け

グループ
ディスカッション

押しプレゼン

事前説明

14:00-14:10

- ① 働き方改革の目的
- ② バイアスについて
- ③ 目的の問い直し

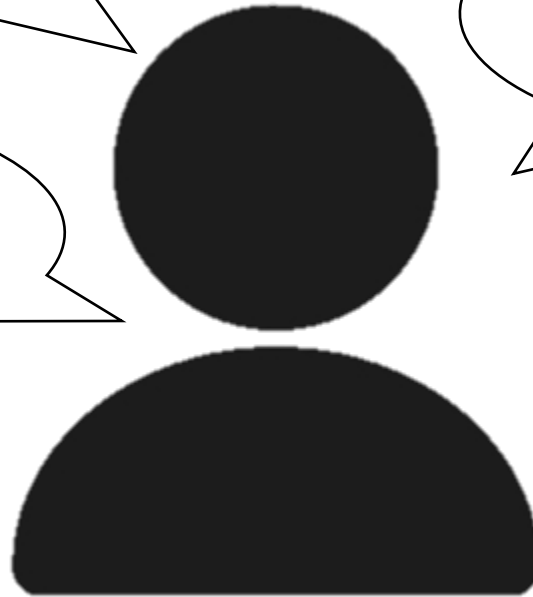
バイアスとは？

思考の偏り（思い込み）

普通は～

～べき

絶対に～



バイアスの見つけ方

「**思い込み**」に気づくことで、さまざまな**呪縛**から**解き放**たれることがあるのではないのでしょうか。

- すべき・ねばならない
- してはいけない
- ふつうは・常識は
- やっぱり
- できない
- 意見が割れるもの

バイアスかも！
を探してみましょ♪



バイアス例

バイアス例	見直し案
毎日掃除はするべき！	清掃週 1 回
PTAがないと協力しない！	PTA廃止⇒ボランティア化
1 人の担任が責任をもつべき！	担任制廃止⇒学年担任制
1 時間は 4 5 分であるべき！	午前 5 時間制 4 0 分授業
研究がないと絶対に学ばない！	校内研究廃止⇒学び合い
宿題 3 点セットを課すべき！	一律の家庭学習の廃止
子どもの座席は決めるべき！	教室のフリーアドレス
指示説明しないと絶対無理！	学び方を子どもが選ぶ

それって本当なの？

いつからそう思っているの？

はじめに

個人ワーク

テーマ分け

グループ
ディスカッション

押しプレゼン

事前説明

14:00-14:10

- ①働き方改革の目的
- ②バイアスについて
- ③目的の問い直し

目的を問い直し、手段を再構築するプロセス

例) 宿題

基礎学力の定着



厳しい管理

一律の宿題

例) 生活指導

荒れないように徹底



校則の徹底

厳しい指導

目的を問い直し、手段を再構築するプロセス

最上位目標

自律した学び手

例) 宿題

基礎学力の定着

厳しい管理

一律の宿題

例) 生活指導

荒れないように徹底

校則の徹底

厳しい指導

目的を問い直し、手段を再構築するプロセス

最上位目標

自律した学び手

例) **宿題**

生涯にわたって
学び続けられる子の育成

厳しい管理

一律の宿題

共有や
提案のみ

学びたい
ことを学ぶ

例) **生活指導**

自己指導能力を高め
自ら判断ができるようにする

校則の徹底

厳しい指導

ルール
メイキング

生徒支援

目的を問い直し、手段を再構築するプロセス

最上位目標

自律した学び手
目的の問い直し

例) 宿題

例) 生活指導

生涯にわたって

学び続けられる子の育成

自己指導能力を高め

自ら判断ができるようにする

手段の再構築

共有や
提案のみ

学びたい
ことを学ぶ

ルール
メイキング

生徒支援

はじめに

個人ワーク

テーマ分け

グループ
ディスカッション

押しプレゼン

14:10-14:20

個人ワーク

知恵を出し合う

お題

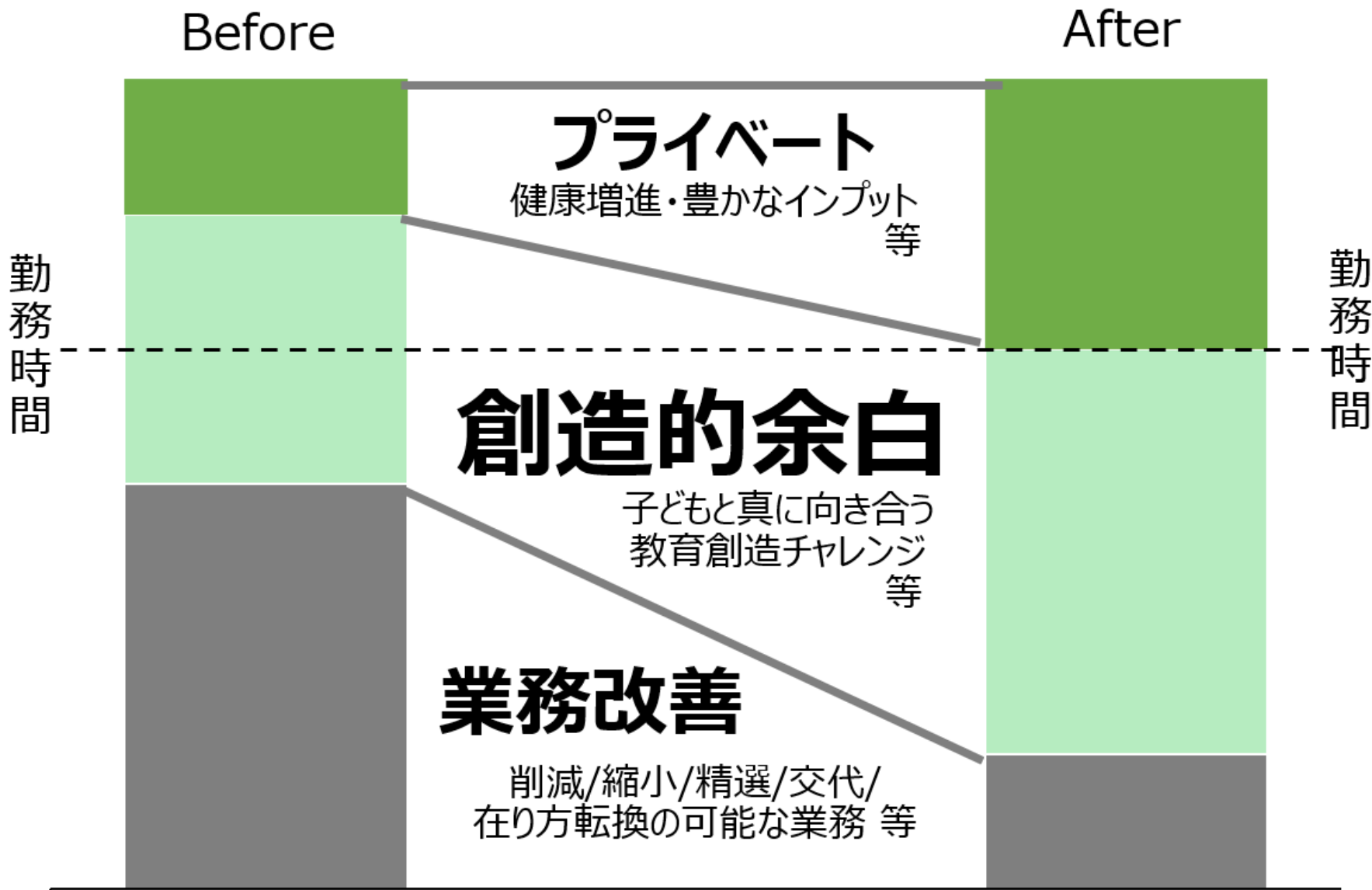
【お題】

創造的余白を〇〇学校で増やすために、
みんなで取り組めそうなことは？

時程の見直し

チーム制/
業務ローテー
ションの導入

働き方改革の目的は「教育の質の向上」



働き方改革 — 3つの切り口 —

今日はここを中心に！

自助 個人裁量

共助 学校裁量

公助 教育委員会・国裁量

3者それぞれに何ができるのか？
を考えて行動することが大事

事前説明

個人ワーク

テーマ分け

グループ
ディスカッション

押しプレゼン

14:20-14:25

テーマ分け



テーマ（チーム）を選ぶ

時程の見直し

①付箋をテーマに振り分けて貼る

②アイデアを見る

名前

③テーマを選び、名前を貼る

出来上がった模造紙を見てチームを選ぶ



チームを決めて、シートをつかってリデザイン

- ②【現在の方法】 ・この方法は、だれにとってどんな「価値」がありますか？
 ・本音で言うとしたら、この方法の「課題」はなんですか？

価値	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・しずかに落ち着いた空気で聞ける。 ・一斉に情報を共有できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有が目的だがおしりが辛くて実は聞けていないのでは？ ・全員が一カ所に集まる必要があるのか？主体的に行動できるようになってほしい。

- ①【プロジェクト名】

全校朝会見直しプロジェクト

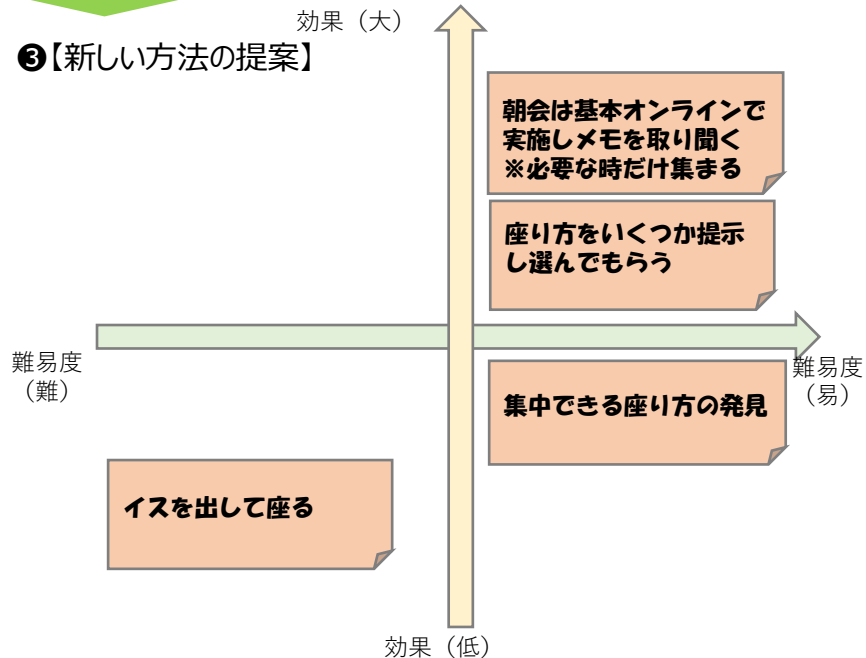
【メンバー】
 大野 中野
 小野 超野

- ④【実行計画】 ・みんな（子ども/保護者等/教員）にとって、納得のいく方法になっていますか？

③の取組のなかで私たちのチームの特に「推し」アイデアは

- ・ 基本、朝会や集会などはオンラインで実施
- ・ 手帳などに子どもがメモをする姿を推奨し、「自律」にむかうように支援する。
- ・ 対面の場合は「座り方」をいくつか提示する

- ③【新しい方法の提案】



アイデア実現に向けた計画

期日 (目安)	取組	担当 (人・分掌等)
すぐに	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来週の全校集会を試しにオンラインにしてみる ・ 今週中に接続テストをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT担当
来学期まで	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン実施の課題を聞き取る ・ 対面時の「座り方」を、子どもに問いかけて複数集める⇒職員会議で決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教務部 ・ 各担任
来年度まで	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則全ての集会はオンラインにする ・ 子どもが「自律」性を養う声掛けを教職員で話し合い・共通認識をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教務部 ・ 各学年主任

はじめに

個人ワーク

テーマ分け

グループ
ディスカッション

押しプレゼン

15:45-16:15

グループ
ディスカッション

はじめに

個人ワーク

テーマ分け

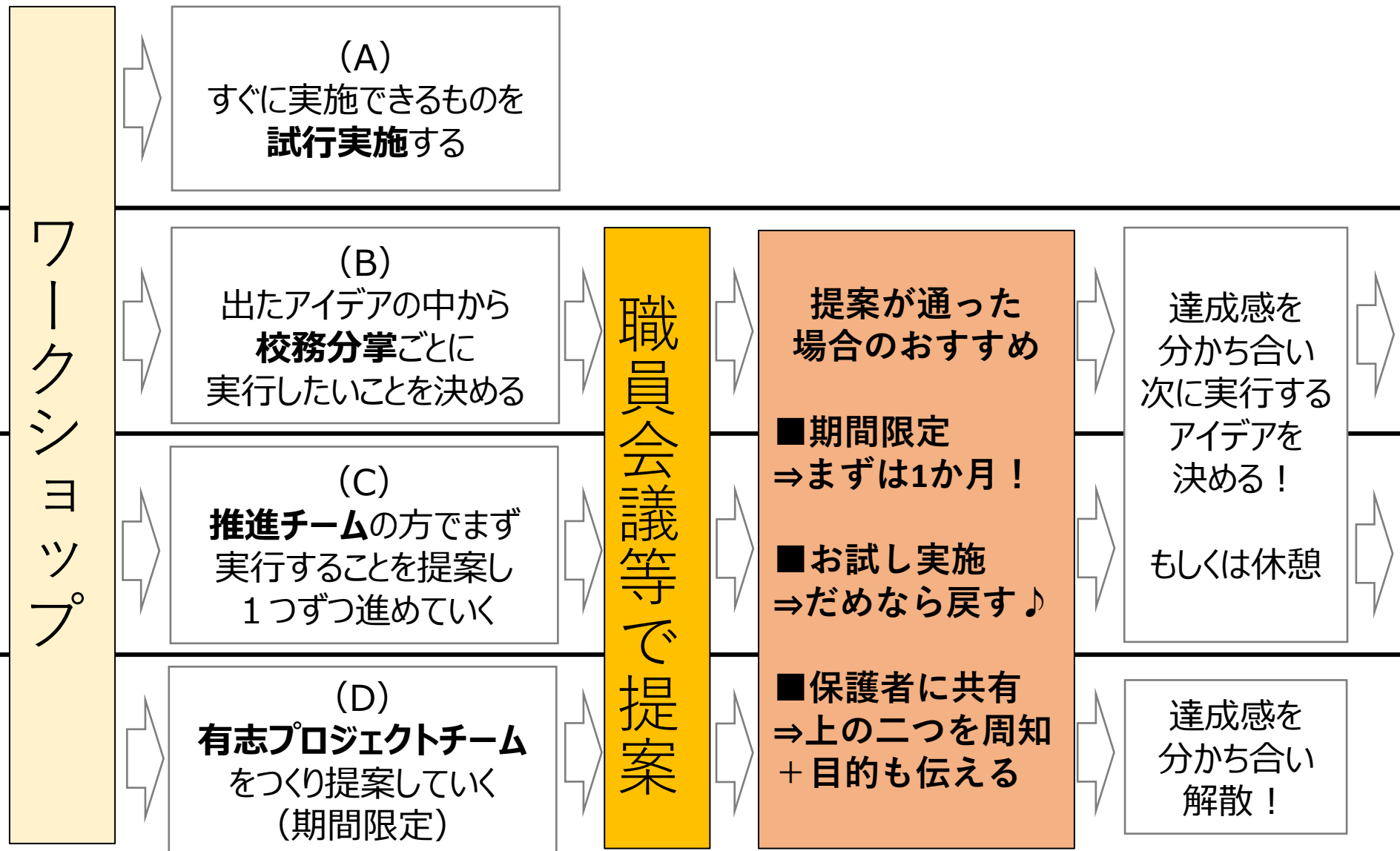
グループ
ディスカッション

押しプレゼン

14:55-15:00

押しプレゼン

アイデアの実現フローチャート



効果や軽減は、遅延してやってくる

今月 1か月後 2か月後 3か月後 4か月後 5か月後 6か月後

